

就活面接 通信技術でアシスト



▲設置されたカメラやマイクが、面接中の表情や話し方を分析する。大阪府北区
▶面接の分析結果を伝える画面のイメージ。NTT西日本提供

NTT西 表情分析、評価教える

NTT西日本が、就職活動する学生向けの面接練習システムを開発する。学生の目線やしぐさ、話し方などを情報通信技術を使って分析し、良かった点を教えてくれる。来年2月に関西大学で試用し、大学の就職支援窓口などに売り込む。

学生の前に置くカメラやマイクで表情を読み取ったり、「えーと」などの間投詞の数を測ったりするほか、学生に着けるリストバンド型の

端末で脈拍数や身ぶり手ぶりを調べる。面接官の評価と測定データを組み合わせることで、面接官が高い評価をした際にどんな身ぶりや態度だったのかを示してくれる。

開発に協力する関大の小尻智子准教授(情報工学)は、面接時の学生の態度が入社試験の可否に与える影響は小さくないと指摘する。「自分のよい点を発見して自信を持ってもらえれば」と話す。(新田哲史)

面接の緊張改善

就活生サポート

「緊張してしまって質問もろろ。」
腕時計型の端末や設置し
にうまく答えられない」
。NTT西日本と関西大
学が、そんな就職活動中の
学生をサポートする実証実
験を2017年2月から始
める。面接を受ける学生の
脈拍や態度を分析し、特徴
を自覚して改善に役立てて

発言からは「エー」とい

NTT西日本と関西大 来年2月から実証実験

った意味のない間投詞の数を数える。流ちょうに話すことを習慣づけることで落ち着きや堂々とした印象を面接官に与えられる。実証実験は関西大の学生が対象となる。関西大の小尻智子准教授は「緊張状態の自分を知る事が大切」という。実験システムはNTT西日本が中心となって開発を進める。今後はプレゼンテーションや接客業の研修への応用も視野に入れる。